

平成 30 年(2018) 2 月 8 日

トラスコ中山株式会社

証券コード 9830

**TRUSCO®**

# NEWS RELEASE

平成 29 年 12 月期 (第 55 期)

本決算のご報告

売上高 1,950 億 96 百万円 (前年比+10.2%)、

営業利益 142 億 76 百万円 (前年比+0.8%)

トラスコ中山株式会社

執行役員 経営企画部長 中井 一雄

経営企画部 広報 I R 課 木村 好希、吉見 今日子

TEL 03-3433-9840 FAX 03-3433-9881 URL <http://www.trusco.co.jp>

# 平成 29 年 12 月期 (第 55 期) 決算のご報告

売上高 10.2%増、当期純利益 101 億円

## 平成 29 年 (2017) 12 月期 (第 55 期) 経営成績

	第 54 期 (前期)		第 55 期 (当期)				
	実績	率	当初予算	修正後予算	実績	率	前年比
売上高	1,770 億 53 百万円	—	1,880 億円	1,935 億円	1,950 億 96 百万円	—	+10.2%
売上総利益	383 億 62 百万円	21.7%	408 億円	409 億 50 百万円	413 億 90 百万円	21.2%	+7.9%
販売費及び一般管理費	241 億 98 百万円	13.7%	258 億円	267 億円	271 億 14 百万円	13.9%	+12.0%
営業利益	141 億 63 百万円	8.0%	150 億円	142 億 50 百万円	142 億 76 百万円	7.3%	+0.8%
経常利益	144 億 33 百万円	8.2%	152 億円	144 億 50 百万円	145 億 81 百万円	7.5%	+1.0%
当期純利益	99 億 63 百万円	5.6%	100 億円	100 億円	101 億 73 百万円	5.2%	+2.1%
1 株当たり当期純利益	151 円 08 銭	—	151 円 64 銭	151 円 64 銭	154 円 28 銭	—	+3 円 20 銭
1 株当たり配当金※	38 円	—	38 円	38 円	39 円	—	—
PB 商品売上高	370 億 81 百万円	20.9%	397 億円	397 億円	401 億 44 百万円	20.6%	+8.3%
設備投資額	81 億 97 百万円	—	115 億 30 百万円	133 億円	144 億 23 百万円	—	+62 億 26 百万円

※平成 29 年 (2017) 1 月 1 日付で 1 株→2 株へ株式分割を行いました。  
第 54 期の 1 株当たり実績は分割後の株式数で計算しています。

## 販売ルート別実績

	売上高		売上総利益率	
	実績	前年比	実績	前年比
ファクトリールート	1,574 億 5 百万円	+8.1%	20.9%	△0.5pt
e ビジネスルート	243 億 77 百万円	+29.1%	25.3%	△0.9pt
ホームセンタールート	123 億 98 百万円	+3.2%	17.5%	+0pt
その他 (海外など)	9 億 15 百万円	+59.5%	19.4%	+0.4pt
全社合計	1,950 億 96 百万円	+10.2%	21.2%	△0.5pt

売上高 1,950 億 96 百万円 / 前年比+10.2% ※ ( ) 前年比

平成 29 年 (2017) 新規取扱商品の売上高は 62 億円です。

①ファクトリールート 1,574 億 5 百万円 (+8.1%/+118 億円)

②e ビジネスルート 243 億 77 百万円 (+29.1%/+54.9 億円)

{ 通販企業向け 181 億円 (+32.6%/+44.7 億円)  
 MRO サプライ 61 億円 (+19.8%/+10.2 億円)

⇒電子購買向けの販売。接続企業数 293 社 (+21 社)、接続工場数 888 工場 (+112 工場)

③ホームセンタールート 123 億 98 百万円 (+3.2%/+3.8 億円)

プロショップへの売上高 16.3 億円 (+15.9%/+2.2 億円)

売上総利益 413 億 90 百万円 (+7.9%) / 売上総利益率 21.2% (△0.5ポイント) ※ ( ) 前年比

売上総利益率△0.5ポイントの要因

(1) ナショナル・ブランド (NB) 商品の売上高構成比の上昇

第 54 期 79.1% → 第 55 期 79.4% (+0.4ポイント)

NB 商品利益率 17.4% / PB 商品利益率 35.9%

(2) トラスコ オレンジブックのカタログ購入支援引当金の増加 (+3.6 億円)

増加金額 1,700 円/set X 21.2 万冊=3.6 億円

販売費及び一般管理費 271億14百万円/前年比+12.0% (約29億円増加, うち22.9億円は以下が要因) ※ ( ) 前年比

販管費の増加要因

(1) 人件費\* 138億60百万円 (+10.6%/+13.2億円)

\*人件費=給与及び賞与、福利厚生費、教育費が含まれます。

平成27年からの3か年計画による社員の基本給・評価給の改定によるベースアップ(+5.7億円)、平成29年からのパートタイマーの時給アップ(+0.8億円)、社員90名(+3.2億円)・パートタイマー189名(+2.3億円)の増員など。

《社員の平均年収(執行役員除く)の推移》

平均年収	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
ファインジャポント含む	668万円	678万円	704万円	743万円

(2) 運賃荷造費 46億87百万円 (+15.9%/+6.4億円)

通販企業向けの売上拡大などによる出荷量の増加(+約2億円)、ファクトリールートの売上拡大と運賃値上げに伴う運賃及び荷造費の増加(+約4億円)。

(3) 減価償却費 27億73百万円 (+13.5%/+3.3億円)

主な増加内訳: 建物(物流センター、支店など)(+2.2億円) / システム関連(+1.6億円) / 設備(+0.9億円)

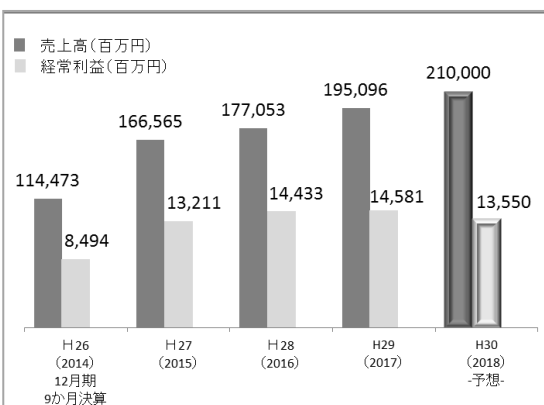
その他指標の報告 ※ ( ) 前年比

- ①取扱商品数: 166万2,400アイテム(+233,000アイテム)      ②トラスコ オンラインブック掲載商品数 35万9,800アイテム(+47,800)
- ③在庫アイテム数: 33万6,800アイテム(+37,900アイテム)      ④在庫ヒット率※: 89.5% (+0.7ポイント)
- ⑤システム受注率: 82.0%(±0)      ※全受注のうち在庫から出荷した比率
- ⑥仕入先数: 国内仕入先2,185社/海外仕入先155社/計2,340社(+118社)

平成30年(2018)12月期(第56期)業績予想

	金額	率	前年比
売上高	2,100億円	-	+7.6%
売上総利益	443億円	21.1%	+7.0%
販売費及び一般管理費	310億円	14.8%	+14.3%
営業利益	133億円	6.3%	△6.8%
経常利益	135億50百万円	6.5%	△7.1%
当期純利益	90億50百万円	4.3%	△11.0%
1株当たり当期純利益	137円23銭	-	△17円5銭
1株当たり配当金	34円50銭	-	△4円50銭
PB商品売上高	430億円	20.5%	+7.1%
設備投資額	197億円	-	+52億77百万円

■売上高・経常利益の推移



販売ルート別予算

	売上高		売上総利益率	
	実績	前年比	実績	前年比
ファクトリールート	1,674億円	+6.3%	20.7%	△0.2pt
eビジネスルート	290億円	+19.0%	25.2%	△0.1pt
ホームセンタールート	126億円	+1.6%	17.5%	△0pt
その他(海外など)	10億円	+9.3%	20.0%	+0.6pt
全社合計	2,100億円	+7.6%	21.1%	△0.1pt

増収減益決算の理由について

①販売費及び一般管理費の主な増加要因(約39億増加予定、うち31.5億円は以下が要因)

- (1) 前期までの従業員給与ベースアップにより人件費の基準額が高まっていることに加え、プラネット埼玉稼働などに伴い従業員が増加。社員116名、パートタイマー約130名増加。(約14.6億円)
- (2) 設備投資に伴う減価償却費の増加(約10.9億円)  
3月プラネット北関東のオートストア稼働(約0.6億円) / 4月プラネット埼玉竣工(約7億円) など
- (3) プラネット埼玉開設に伴う消耗品費の増加(約6億円)  
コンテナ、パレット、ハンディーターミナル(通信機器)、事務家具など

②当期純利益について

第56期は税制優遇措置(所得拡大促進税制)が適用されない。(第55期は約3.3億円がプラス影響)